



# ～ 50周年に向けて 商大は変わります～



開学50周年記念事業の一環として、よりよい教育の場にふさわしい施設及び環境を整備するため、「つるみキャンパスの施設及び環境の整備」を企画しています。

横浜商科大学は、平成28年に50周年を迎えます。



### 第43号

発行  
横浜商科大学  
同窓会  
TEL 045-583-9031  
<http://www.shodai-ob.com/index.html>  
印刷  
（株）サン・プリンティング  
TEL 03-3750-6633

### 円環眺望デッキ イメージ図

木陰にある中庭の横に学生食堂デッキ、眺望デッキがあり、ステージ前にはプロジェクター・スクリーンがあります。

応援しよう！  
母校を

昨年来ご案内のとおり開学50周年記念事業として募金活動を行っております。現在までに各方面からご協力をいただいております。（9月8日現在約835万円）平成28年度末で1億円を目標にしています。

半世紀を経て、商大は大きく大きく変貌しようとしています。その為に卒業生の皆さまのお力が必要です。ご協力をお願い申し上げます。

詳細は大学事務局へご連絡をお願いいたします。

### 横浜商科大学 連絡先

横浜市鶴見区東寺尾4-11-1  
TEL：045-571-3901  
FAX：045-571-4125  
<http://www.shodai.ac.jp/>

# 「就任16年を顧みて」

同窓会会長 大嶋 裕

横浜商科大学同窓会会員ならびにご家族の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げますとともに、日頃より同窓会へのご支援、ご協力に対して心より厚く御礼申し上げます。

機関紙も発刊以来43号を数えております。「継続は力なり」ともいわれますが、機関紙担当者の努力もさることながら、寄稿して頂いた方々のご協力、機関紙を手にして読んでいただく会員の皆様があつてのことと思います。

さて、ご承知のとおり本学は平成28年に開学50周年となります。これは、本学が横浜商科短期大学として誕生してからの歴史です。この間には大学も色々出来事がありましたが、同窓会そのものにもありました。私は16年前に役員会で会長に推薦され、総会で承認を受けました。初代会長からのバトンタッチです。

就任前は会計、副会長を努めておりましたが、就任後会長という重責を改めて感じた次第です。現在に至るまでには同窓会本部役員、同窓会事

務局、各支部長、そして会員である卒業生の皆様のご協力があつてのことと深く感謝しております。顧みれば、大きなショックは副会長を委嘱した良き相談相手であつた川西さんの急逝、大学理事会の交代、第三者評価などが脳裏に刻まれております。その時々で役員各位に相談、対処してきましたが一部の会員からの厳しいご意見・ご指摘等もありその都度考えながら何とか切り抜けて今日に至ります。個人的に厳しかったのは、会社の仕事と役員会などが重なった時もあり、役員会後、会社へ戻ったりしたこと。も今はよい思い出となっております。(勤務先が東京都港区芝浦でしたので東海道新幹線品川停車には感謝したものです。)また、あと2年で同窓会発足40周年を迎えます。更に一步一步の前進を期待したいと思っております。



平成25年11月23日(土) 於：新横浜国際ホテル

写真撮影の時には帰られた方々も何名かありましたが、にぎやかな懇親会でした。皆さん多いに語り合い、まだまだと足りず、それぞれグループ毎に二次会へと別れてゆきました。

平成24年度収支計算書

自 平成24年10月1日
至 平成25年9月30日

収入の部 単位：円

Table with 2 columns: 科目 (Category) and 決算額 (Actual Amount). Rows include 会費収入, 事業収入, 資産運用収入, 雑収入, 積立金(剰余金)取崩収入, 当期収入合計(A), 前期繰越収支差額, 収入合計(B).

支出の部 単位：円

Table with 2 columns: 科目 (Category) and 決算額 (Actual Amount). Rows include 事業費, 準会員支援金, 組織強化費, 管理費, 当期支出合計(C), 当期収支差額(A)-(C), 次期繰越収支差額(B)-(C).

平成25年度収支予算書

自 平成25年10月1日
至 平成26年9月30日

収入の部 単位：円

Table with 2 columns: 科目 (Category) and 予算額 (Budgeted Amount). Rows include 会費収入, 事業収入, 資産運用収入, 雑収入, 積立金(剰余金)取崩収入, 当期収入合計(A), 前期繰越収支差額, 収入合計(B).

支出の部 単位：円

Table with 2 columns: 科目 (Category) and 予算額 (Budgeted Amount). Rows include 事業費, 準会員支援金, 組織強化費, 管理費, 当期支出合計(C), 当期収支差額(A)-(C), 次期繰越収支差額(B)-(C).

平成24年度正味財産増減計算書

自 平成24年10月1日
至 平成25年9月30日

単位：円

Table with 3 columns: 科目 (Category), 金額 (Amount), and 金額 (Amount). Rows include 増加の部 (50周年記念事業積立金), 減少の部 (当期収支差額), 当期正味財産増減, 前期繰越正味財産, 期末正味財産合計.

(平成25年9月30日現在累計額) (単位：円)
注：1. 50周年事業積立金 8,500,000
2. 名簿発行準備金 1,000,000
3. 公報発行積立金 1,500,000
11,000,000



平成24年度 事業報告

(自：平成24年10月1日 至：平成25年9月30日)

- 1. 定期総会の開催
2. 機関紙の発行 (年2回)
3. 支部設立の推進 (特に都道府県単位支部)
4. 本部・支部及び各支部間の連携強化
5. 名簿管理の充実
6. 収支改善の検討
7. 本部総会、各支部総会の会員出席率向上
8. 事業実績
平成24年 10月1日 同窓会会報第41号発行
10月11日 大学祭(飯山祭)へ支援
10月16日 大学との定期懇談会開催(秋季)
11月17日 平成23年度定期総会(第37回)開催
平成25年 3月23日 平成24年度学位授与式・記念品贈呈・卒業記念パーティー支援
4月1日 平成25年度入学記念品贈呈
5月29日 大学との定期懇談会開催(春季)
6月25日 同窓会奨学金贈呈(3名)
7月1日 留学生懇親会支援
9月13日 平成25年度有資格者特待生支援
9月20日 同窓会会報第42号発行(ホームカミングデー等案内同封)
9月21日 平成25年度秋季学位授与式・記念品贈呈

平成24年度貸借対照表

平成25年9月30日 現在

単位：円

Table with 4 columns: 資産の部 (Assets), 負債及び正味財産の部 (Liabilities and Net Assets), 科目 (Category), 金額 (Amount). Rows include 現金, 普通預金, 定期預金, 立替金, 正味財産, 合計.

平成25年度 事業計画

(自：平成25年10月1日 至：平成26年9月30日)

- 1. 定期総会の開催
2. 機関紙の発行 (年1回)
3. 支部設立の推進 (特に都道府県単位支部)
4. 本部・支部及び各支部間の連携強化
5. 名簿管理の充実
6. 収支改善の検討
7. 本部総会、各支部総会の会員出席率の向上

## 定期総会の前に支部長会議が開催されました。

都道府県支部、運動・研究会関連支部、職域支部の各支部長と本部役員が一同に集い各支部が抱える問題点等を話し合いました。  
なかなか結論がすぐに出るものではなく、各支部長さんのご苦勞が感じられました。



総会後に行なわれた懇親会では懐かしい恩師・友人との再会に時の経つのも忘れ、盛り上がりました。



恒例のビンゴでは笑った人、悔しがった人、それぞれドラマチックなひと時でした。



### 支部だより

新潟支部 支部長

田村 昭雄 (第3期卒)

新潟支部会員の皆様、いつもお世話様です。

平成25年度支部総会は9月23日長岡グランドホテルにて、来賓として同窓会本部大嶋会長、大学より古木先生にご出席頂き開催致しました。

新潟支部は2001年に支部設立以来13回目を迎え、その間幾多の困難もあつたと思いますが、初代阿部支部長をはじめ各歴代支部長及び会員皆様の、ご支援ご協力にて今日に至っております。私も支部の発展に努めたく思っておりますので、会員各位のご協力をお願い申し上げます。

今支部総会でも、大嶋会長より同窓会の現状、更に大学開校50周年記念事業の説明等お聞かせ頂きました。古木先生からは大学の現況及び第三者評価等の取組みをはじめ、諸課題の可能な限りの説明を聞き有意義なひと時を過ごすことが出来ました。また、当

支部では2005年の群馬支部設立以来、お互いに情報交換・親睦の場として、各支部総会での人的交流(相互出席)を有意義に継続しております。

最後に、新潟支部は200余名の会員ですが出席率が低迷しております。是非皆様お気軽にご参加下さい。お待ちしております。また難しい話は抜きとして親睦を図って頂ける会を心掛けております。とにかく参加してみして下さい。今回も新しい方が2名出席され、楽しく懇談させて頂くことが出来ました。  
有難うございました。



ハンドボール部 支部長

滝上 徹 (第5期卒)

商大ハンドボールOBの皆様におかれましては益々ご健勝にて日々活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃よりOB会活動にご協力いただきまして厚く御礼申し上げます。

さて、本学は残念ながら今季6部に降格しましたが、次リーグ戦は、5部昇格を目指し、これを足掛りに上部リーグ復帰を目標に練習に励んでいます。OB有志もこの境遇から抜け出すため、現役チームの練習に参加し少しでも手助けになるよう努めています。が、本当のオールドボーイなので逆に遊ばれている感が強いです。

5月24日に渋谷にて幹部会議(11名参加)を実施し「どんなことがあってもあきらめない、必ず這い上がる」との気持ちを持って現役のサポートをしていく決意をいたしました。既述の練習に参加もその一つです。全国におられますOBの皆様も是非ご協力ご声援をよろしくお願いいたします。

す。また、このような状況です。また、このような状況です。また、このような状況です。

す。また、このような状況です。また、このような状況です。また、このような状況です。

す。また、このような状況です。また、このような状況です。また、このような状況です。

す。また、このような状況です。また、このような状況です。また、このような状況です。

す。また、このような状況です。また、このような状況です。また、このような状況です。

す。また、このような状況です。また、このような状況です。また、このような状況です。

す。また、このような状況です。また、このような状況です。また、このような状況です。

す。また、このような状況です。また、このような状況です。また、このような状況です。

滝上連絡先 takigami7@ybh.ne.jp

福島支部 支部長

斎藤 晋一 (第16期卒)

「福島支部長新任のご挨拶」昨年11月15日に開催された商大同窓会福島支部総会において支部長に任命されました斎藤晋一です。よろしくお願いたします。

今の福島の現状は、震災前と大きく様変わりをしておりまして特に人口の流出により、8万人減少しているはずなのですが支援者や除染業者の流入で、福島にカウントされない方たちでトータルでは増加していると思います。それは、スーパーやコンビニが増設される点や不動産の賃貸情報誌の紹介物件が少なく休刊しているという状況から判断できます。

全国からの警察の応援もあり福島市内を走る警察車両が神奈川県警のパトカーだった時もあります。震災後の2年間は北海道警や西日本の警察車両が数か月交代で福島を走っておりました。また、郡山市に本社のあるパチンコ店の売り上げが3年連続上昇して全国4位になったことから

もある面では地域経済は活性化していることがうかがえます。東京電力からの賠償金が大きく影響して福島の地方銀行の保有残高も過去最高額になっております。

先日、福島労働局の局長のお話を聞く機会があったのですが、有効求人倍率は1.44倍で全国1位だそうです。その内訳は建設土木が3.5倍、介護職が2.12倍、看護職が2.54倍、事務職は0.5倍とかなり偏った内容です。別の観点では、放射能の問題で幼児のいる主婦層の人口が避難により激減していますので保育園の経営が厳しいところも出てきています。

とりとめもない話になりましたが、全国の皆様方からは温かいメッセージやご支援をいただきましたまして本当に感謝しております。福島の商大OBは皆元気でやっておりますが、それぞれの職場では復興が最重要課題になっております

点、同窓会活動になかなか力を入れられないでおります。大変恐縮ではありますが現状をお酌みとり下さいますよう

よろしくお願い申し上げます。

マーケティング研究会 副支部長

渡辺 竹司 (第12期卒)

当会は、平成22年11月に「宮原ゼミの宮友会」を母体として発足いたしました。

毎年、10月に定期総会を「つるみキャンパス」にて開催、今年で5年目を迎えます。

活動の内容としては総会後に、研究報告会とし第一線で活躍している当会会員が発表を行っております。

昨年、平成25年の研究発表は「簡便食品へのアプローチ」と題して、石川県金沢市にある「カナカン」に勤務の会員が、本年平成26年は、日通に勤務の会員が「国際物流について」と題して発表を行う予定にしております。

このように、当会の目的であるマーケティングに関する実務経験の共有と新たなマーケティング知識の紹介を推進し、少しでも母校の発展に貢献できるように活動を続けて参りたいと思っております。

関西支部 支部長

林 永年 (第10期卒)

【支部総会開催】

平成25年12月7日午後6時  
千日前「鳥よし本店」  
参加者 本部より1名  
支部会員7名 合計8名

午後6時より支部総会の開催宣言があり、当期間内の支部活動報告があった後、木村会計担当より決算報告、次期予算案について説明があり意見を聞いた後、承認を求めたところ全員の賛成をもって全て承認された。

滋賀県在住者に初めて支部総会案内状を送付したところ、総会出席者は今回いなかったものの10名中3名からの返信があった。遠方になるため参加は難しいかもしれないが、まずは関西支部の存在を知ってもらうことができ、次に繋げたいところだ。

その後、本部からの出席者植木様や支部長会議に出席した者から同窓会本部の活動、大学の現状などの報告がされた。なかでも、平成28年には「開学50周年」を迎えること

から様々な行事を開催する予定であること、学内設備充実のため寄付金を募集しているとのことである。さて、当支部では「夏の総会」を8月又は9月の平日の夕刻に開催している。現在の参加者は5名程度でほぼ固定メンバーである。主な活動は、本部総会への参加者決定、支部総会の打ち合せ、前年支部総会後の重要な催事などの報告を行っている。



横浜商科大学関西支部 平成25年12月7日

飯山会支部 幹事長

植木 茂雄 (短大卒)

平成26年6月14日(土) 横浜 浜駅東口スカイビル29F「北

海道」にて12時より第6回総会を開催しました。

今回は例年の5月第2土曜日から6月第2土曜日に日程を変更し、又女性会員の会費を安くしたり等、企画しましたが出席者が前回より少ないという結果になり、計画を立て直さなければなりません。

総会後の懇親会では、おいしいお酒とお料理で楽しい話が止まらない、とにかくとにかく楽しい会となりました。今回は1人でも多くの会員に出席してもらい、この楽しさをわかち合いたいと思います。



群馬支部 支部長

鈴木 清照 (第8期卒)

第10回 群馬支部総会(平成26年7月5日)を終えて

群馬支部は今年で支部設立10年になりました。今年も支部総会を例年通り高崎駅近くの高崎ワシントンホテルプラザで開催いたしました。

支部会員は年々増えていますが、支部総会に出席される方が増えていないのが現状です。

群馬支部会員は自営業の方、会社の要職にある方、公務員、教職にある方、サービス業の方など社会の様々な分野で活躍されています。

私達は横浜商科大学の卒業生として又、年一度同じ学舎で学んだ者として会し、情報交換の場となればと考えています。

商大も時代に即した大学へと改革を進めているようです。群馬支部は今後一人でも多くの会員の皆様が支部総会へ出席されるよう、役員一同努力していきたいと思っております。

静岡支部 支部長

山崎 成 (第4期卒)

静岡支部第16回総会に際して静岡支部会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より同窓会支部活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度の支部総会も皆様のご協力のお蔭で、6月29日に静岡グランドホテル中島屋にて無事、終了致しました。誠にありがとうございました。

さて、今年度の支部総会には来賓として宮原名誉教授をご招待し、本部役員の出席も頂き、総勢12名の出席となり



ました。総会の後に宮原名誉教授の「人生80年代の生き方」についての講演を拝聴し、先生の生い立ちや今後の人生設計等のお話は私の今後のライフワークにも大変参考になりました。

又、今回は東京から藤井照代様(飯山会支部・第1期卒)、鈴木恒雄様(第8期卒)、沼津から鷲巢昭様(第26期卒)の3名が初出席され、話題も豊富となり懇談会も大変盛り上がりました。来年も大学の先生をご招待して講演を予定しております。同窓会に関心のある方は是非お声をお掛け下さい、お待ちしております。



少しずつではありませんが、静岡支部総会も出席人数が増え、盛り上がりつつあります。皆様の一人数でも多くのご協力を得て、有意義な支部総会を開催していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



**宮城支部 支部長**

小松 智(第8期卒)

平成23年3月11日

東日本大震災より3年半の歳月が過ぎようとしておりますが、決して忘れることができませぬ。

宮城支部においても總會への参加人数が通常でも少ないのに、更に少人数となっております。また開催場所を模索しておりますが、費用等の問題で適当な場所が見つからないのが現状です。

今後一人でも多くの参加者を募る為に努力をしたいと思います。

宮城支部総会開催を9月26日(金)に予定しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

**不動産支部 支部長**

金澤 亨(第14期卒)

平成26年6月18日、都内の早稲田大学、井深記念ホールで第11回大学不動産連盟総会が開催され、横浜商大不動産会は本年度、理事長校として前年度理事長校の同志社大学から引継ぐこととなりました。



H25.9.11 中華街「金香楼」支部総会

**新たな地域会スタート**

「UREL田園都市」

大学不動産連盟UREL(ウレル)の14番目の地域会「UREL田園都市」が発足し、23日、横浜市青葉区内で第1回情報交換会を開き、約70人が出席しました。

発起人で代表世話人の竹田嘉夫氏(不動産支部)は「多くの方のご支援とご尽力により、きょう、UREL田園都市が産声を上げ、この地域で新しくビジネスチャンスをつくり、成約に向け力を合わせて努力する」とあいさつを

しました。

URELは建設・不動産業界で活躍する首都圏などの大学OB会の連合組織で、地域会は、UREL会員が地域ごとに大学の枠を越えての組織です。UREL田園都市は、東急田園都市線沿線など横浜・川崎の城北エリアを中心に活動するものです。

平成25年度卒業生および平成26年度入学生に、同窓会は育友会と共同で、記念品を贈呈いたしました。



**入学生に記念品贈呈**



写真右 入学記念品(USBメモリ、シャープペンシル)  
写真左 卒業記念品(ボールペン)

### 活躍する卒業生紹介

#### 横浜商科大で制度説明会

合格までの道のりを母校で語る

平成26年6月17日(火)、

横浜商科大学・鶴見キャンパスにて行なわれました公認会計士制度説明会に、今回私は同校の卒業生である公認会計士としての立場で、母校の学生たちに対して合格体験談を語らせて頂きました。久しぶりの母校への訪問に、学生だった当時の様々な出来事の違いが出が蘇る……わけではなく、今年度から非常勤講師として私は簿記基礎演習と原価計算論の講義をさせて頂いており、講堂に集まってきた学生たちの中には、私の講義を受講している学生達の姿もあり、リラククスして話をする事ができました。

今回、母校の学生達に対しては、私の学生時代から公認会計士試験に合格をするに至るまでの過程で、過ごしてきた日常や当時感じたことなどを主として話をさせて頂きました。高校時代に日商簿記2級

を取得して、その後は実に怠惰に過ごしてきた大学時代。その因果か、卒業して就職をしたものの、上手く社会に馴染めずにいろいろと職を転々とした日々についてなど少しだけ語らせてもらいました。

苦労自慢などする気はございませんが、我ながら本当に今日までよく無事に生きてこれたなああと、学生たちに話をしながら思いました。ただ、社会で生活する大人たちの多くは、過去を振り返ると私と同じように感じるものなのではないかとも思います。

あまり波風を立てずに平々凡々と生きていこうと思っても、なかなかそう思った通りにはいかないもので、様々な問題が次から次へと起こります。ときには殻に籠って風を避けたいと思うこともありませんが、怖いものほど勇氣を出して正面から切り込んで進んでいくことが、結果として将来の自分を助けることに繋がって行くように私は思います。子供の頃に、何度も転びながら自転車に乗れるようになった記憶を思い出してみ

ください。

公認会計士試験の勉強も自転車の練習と同じです。試験を受けるために必要な勉強量の多さに尻込みをしてしまうかも知れませんが、ミスを繰り返しながら人って成長していくものです。次から次へと待ち受けている問題に挑戦していくことが、いつか楽しく思えてくる日がきっと来ます。

その頃には、以前よりもいくらか成長している自分に気が付くことができるでしょう。公認会計士試験に挑戦してみようかと考えている学生の方、いい機会なので果敢に挑戦してみてください。最後に

なりますが、今回お声をかけてくださいました神奈川県事務局長の皆様、授業の時間を提供してくださりました石井明先生に感謝を致します。  
平成26年日本公認会計士協会機関誌「CPA神奈川」8月号より  
平成14年経営情報学科卒(林 太二)



### 新会員紹介

#### 坂本 仁史

(商学部 経営情報学科卒)

私は横浜商科大学に入学し、4年間の学生生活の中で様々な学問を学ぶとともに、多くの経験をさせて頂きました。この4年間で培った知識は、社会の一員となった現在においても役立つ、活躍の機会を広げてくれています。

私は、横浜商科大学で資格の取得及び就職免許の取得を目指して努力し、また、ゼミ長としてゼミ生をまとめていく中で様々な能力及び教訓を得ることが出来ました。

具体的には、各ゼミナールに向けて行うゼミの活動報告会を通じて、情報処理能力及びプレゼンテーション能力を身につけることが出来たとともに、教職課程を通じて、計画的な重要性やコミュニケーションの大切さを感じることが出来ました。また、私は芸術部の副部長としても活動し、文化祭などの各行事の中で、部長をサポートし、部員

をまとめることで実行力及び目標を達成したときの喜びを得ることも出来ました。

それらの様々な活動を通じて、リーダーシップと責任感を得ることが出来たと自負しています。

私が一番印象に残っていることは、川崎商業高等学校様のご協力による教職課程における湯河原研修合宿の内容です。その中で、教師として授業だけではなく仕事の内容について教えて頂きました。

湯河原研修合宿に参加させて頂いたことで、教育実習前にとても良い刺激になりました。

生徒に勉強を教えることだけが教師の仕事ではなく、実際は片付けなければならぬ仕事が多く存在し、教師という職業はとても忙しいものであると、改めて実感することができたとともに、さらに教師という職業の魅力が増した研修であったことから、とても印象に残っています。

横浜商科大学は他大学と比較しても、資格取得をサポートする講座の豊富さや、少人



数制による細かい指導によって先生方に対する学生の信頼はあつく、他大学では成し得ない経験をさせて頂ける素晴らしい大学であると考え、そんな横浜商科大学を卒業出来たことを誇りに思っています。

これからも、学生達の為に、学生の視点に立ってサポートして頂き、横浜商科大学の良さを維持しつつ、今まで以上

## 選ばれる大学へ

## 「動」

### 柴田悟一学長に聞く



に大学の良さが高まって行ってくれたら、私も嬉しく思います。大学生活で得た知識や経験を生かして、これからの社会を担っていきたくと思っています。

そして、また、卒業生として横浜商科大学に伺いたいと思います。

「見(魅)せる」大学に向けて改革を重ねる横浜商科大学。近代マネジメントやイノベーションを論じた経営学者ピーター・ドラッカーが大好きという柴田悟一学長に、改革の方向性や具体策などを聞いた。

「改革のキーワードは？」

2013年度は「動く」「見(魅)せる」です。ドラッカーは「顧客は誰か、を問うことから事業を始めよ」と言っています。私たち大学にとって顧客とは学生や保護者、高校の先生、進学塾の先生、社会

人などです。顧客に選ばれ、魅力ある大学像を知ってもらうためのアプローチが、弱かった。そうした認識に立ち、全教職員が積極的に「動く」こと、そして本学の知名度を上げるために「見(魅)せる」こと、この二つを重要視して改革を進めています。

「具体的には？」

JR湘南新宿ラインや東急東横線などが埼玉県にもつながりました。埼玉県の高校にも働き掛けをさらにしていきます。学内では今年から、初年次

教育の一つを変えました。海外経験の豊富な英語教員を新たに6人採用し、計7人が1クラス当たり約40人を担当します。高校のホームルームのような雰囲気、さまざまな相談にも乗ります。活気が出てきました。

またゼミを選択制から必修にしました。ゼミに入ると先生や仲間とのコミュニケーション力が高まり、就職率が高くなることも分かっています。

2012年度では就職希望者260人に対して求人数は約7千企業。1人当たり20〜30社の求人があります。じっくり考えて夢を実現してほしい。

「新しく大学連携もされたようですね。」

今年4月、本学と神戸夙川学院大学、長崎国際大学の、港のある地域の3大学で「みなとまち大学連携協定」を締結しました。観光プランを競う「全国高校生 観光甲子園」への連携など、地域の活性化を担う人材も育てていきたい。

神奈川新聞より抜粋  
平成25年9月16日

## 活躍する在学生紹介

### 貿易観光学科

4年 清都 俊仁

(ブラインドサッカー日本代表)

ブラインドサッカーはイマジネーションとオリエンテーションを駆使した5人制サッカーです。また視覚障害者と健常者が同じフィールドでプレーすることのできるユニバーサルスポーツでもあります。フィールドプレーヤーはアイマスクを装着し、普通なら情報の8割を得ているという視覚を奪いながらも、驚くほどのプレーをする選手たちがいます。その中でゴールキーパーは健常者が行います。私はゴールキーパーとして昨年に引き続き選出されました。

昨年は自分が出場した2試合は1勝1分でした。今回は前回よりも強豪国が集まりましたが、11月の世界選手権に向けて良い成績を残せるよう頑張ってきました。

昨年に続き、今年も同窓会よりご支援を頂き、ありがとうございました。

### 平成26年度 後期

学年暦	後期
9月20日	学位記授与式
9月27日	後期授業開始
10月13日	体育の日(祝日)
10月22日	飯山祭期間(祝日)
10月25日・26日	飯山祭(祝日)
11月3日	文化の日(祝日)
11月24日	勤労感謝の日(祝日)
11月23日	年末年始休暇(祝日)
12月23日	大学入試センター試験
1月17日・18日	後期授業終了
1月31日	後期定期試験
2月3日	後期定期試験
2月9日	学位記授与式(春分の日)
3月21日	オリエンテーション
3月26日	オリエンテーション
3月31日	26年度終了

### 編集後記

会報43号にご協力・寄稿いただき、ありがとうございます。

尚、今後この会報は10年間HPに掲載されますので、ご了承をお願いいたします。

毎年、異常気象といっていますが、もはや通常となりつつある日本の気候、美しい四季のある日本にもどれるのでしょうか。

全国各地で大災害にあわれました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

幸福は過去にあるのではなく、未来にあるのです。皆さまには、どうかご慈愛のほど祈り上げます。

一紀

## 第39回

## 定期総会・懇親会の

## ご案内

母校は遠きにありて想うもの？  
語り合うのは今宵でしょう！

日時：平成26年11月22日（土） 午後6時より総会  
午後7時より懇親会

場所：新横浜国際ホテル（南館）tel 045-473-1311

JR新横浜駅北口徒歩3分

市営地下鉄新横浜駅7番出口徒歩1分

- 議案：1) 平成25年度事業報告・決算報告  
2) 平成26年度事業計画案・予算案  
3) 会長及び会計監査選出  
4) その他

会費：¥8,000（当日、会場にてお願いします）家族同伴大歓迎

※尚、ご夫婦で卒業生の場合は各々¥8,000、中学生以上は¥2,000となります。

日頃より、同窓会活動にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。  
おかげさまで当会も会員数20,000余名になり、各方面で大活躍されています。

さて、平成25年度定期総会を標記の通り開催いたします。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますよう、  
ご案内申し上げます。

## 今年卒業された新会員は会費無料！

懇親会には教職員の方も多数出席されます。

※昨年同様、景品等ご提供・寄付を受付けておりますので、ご協力お願いします。

お問い合わせは同窓会事務局まで

TEL・FAX：045-583-9031

Email：dousou@shodai.ac.jp

ホームページ：http://www.shodai-ob.com/

事務取扱：月火木金（10時～16時半）

※第9回支部長会議は 同日・同ホテルにて 午後3時30分より開催